こいのうた

工 上 四 老四上 尺 工 合尺工 上 四 老四

上 尺 工 ○ 工 い ↓ きてゆ く ちから が そ

中 の 手にあ 上四上 合尺工 る う 合王五 ちは 合尺工 わらわ 合王尺 せてて 上尺

工 つも 老四上 合上中 うたつ 上四上 合尺工 てい 合尺工 て 合尺工 ほ 合尺工 しいよ 合○

工 上 四 老四上 尺 工 合尺工 上 四 老四

上 尺 工 ○ 工 き 合王尺 つと 上尺工 このこ 老四上 いは 合上 く

中 ち 上四上 合尺工 こ 合王五 もなく 合尺工 つた 合王尺 わる 上尺 こ

工 と 老四上 合上中 かな 上四上 合尺工 も 合尺工 な 合尺工 くて 合 終わる

工 合王尺 上尺工 老四上 合上中 上四上 合

の おんどはさがらないでしょう 合王五 合尺工 合王尺 上尺工 老四上 合上

ないけれど 中 上四上 合尺工 合尺工 合王尺 合 六五六 七六五尺

合尺工 合 六 合 八七六 五王尺 合尺工 合

こいのうた

本調子

いきてゆくちからが その手にあるうちは わらわせてていつもいつも そばに
六 五六七 六五尺 合尺工 合 中 五 工 合尺

いてほしいよ きつとあなたには きゆう↑に↑こいしくなったり やきもちを焼い
工 上 四 老四上 尺 工 工 上 四 老四上

たり あいをたくさんくれて あいをあげたいひとがいるから ただち○いきいち
尺 工 合尺工 上 四 老四上 尺 工 ○ 工

いさいひかりのような あたしのこいごころにはきづかないでしょう でもそん
合王尺 上尺工 老四上 合上中 上四上 合尺工

なあなただからこそ かがやいて見えるのだから きつといまのあたしには あ
合王五 合尺工 合王尺 上尺工 老四上 合上中

なたいじょうはいないでしょう おしえてください かみさま あのひとはな
上四上 合尺工 合尺工 合○工 上 四 老四上

にをみてる なにをかんがえ だれをあいしだれのためにきずつくの いきてゆ
尺 工 合尺工 上 四 老四上 尺 工 ○ 工

くちからが その手にあるうちは わらわせてて いつもいつも そばにいてほ
合王尺 上尺工 老四上 合上中 上四上 合尺工

しいよ
合王五 合尺工 合王尺 上尺工 老四上 合上中

上四上 合尺工 合尺工 合 工 合王尺 上尺工

老四上 合上中 上四上 合 工 合王五 合尺工

合王尺 上尺工 老四上 合上中 上四上 合尺工

こいのうた

本調子

合尺工 合六 五六七 六五尺 合尺工 合六 合六

合八七六 五工尺 合尺工 合六 五六七 六五

尺合尺工 合中 五工 合尺工 上四 老四

上尺工工 合工尺 上尺工 老四上 合上中

上四上 合尺工 合工五 合尺工 合工尺 上尺工

老四上 合上中 上四上 合尺工 合尺工 合工

合工尺 上尺工 老四上 合上中 上四上 合尺工

合工五 合尺工 合工尺 上尺工 老四上 合上中

上四上 合尺工 合尺工 合